

2023年6月16日

大阪公立大学

商学部×劇団カオス 「教育・研究」と「演劇」が融合した公演

「公務イング・マイ・ウェイ！」

～産業振興と中小企業支援について考える～

2023年8月19日（土）・20日（日）、大阪公立大学杉本キャンパス 田中記念館ホールにて、商学部公共経営学科×大阪公立大学の公認サークル「劇団カオス」のエデュテイメンツ第7弾公演「公務イング・マイ・ウェイ！」を開催します。

エデュテイメンツとは、教育（エデュケーション）と娯楽（エンターテイメント）が融合した演劇イベント。大阪公立大学の劇団カオスと商学部公共経営学科 本多 哲夫教授（地域経営論・中小企業論）のコラボ企画で、演劇を介して学びや気づきを促進させていくことを目的としています。

大学発の「教育・研究」と「演劇」が融合した非常にユニークな取り組みについて、ぜひご取材ください。



昨年公演した
「踊る中小捜査線」の様子

あらすじ

とあるお役所の地方公務員たちが急に産業振興をしると上から命じられ、右往左往することに……。役所に棲みつくとされているイタズラ好きの妖怪「役所わらし」が彼らの仕事を手伝ってくれる！？ いや邪魔してくる！？ 地域における産業振興と中小企業支援について考える、学びと娯楽の大学発オリジナルコメディ！

【本取組の特徴】

この作品は2020年に上演するはずでしたが、新型コロナウイルスの影響により上演中止となり、やむなくウェブラジオドラマとしてYouTube 大阪市立大学公式チャンネルで2020年8月に配信。今回当初の目的であった舞台での上演を果たすリベンジ企画です。

脚本を執筆した本多教授は、自らの講義や研究をもとにオリジナル脚本を執筆しています。中小企業をテーマに後継者問題を扱った「継ぐまちファクトリー」、存亡の危機に瀕する地元商店街の奮闘を描いた「ショッパーズ・ハイ！」、ヒーローに憧れる主人公が倒産寸前の電器屋の立て直しを図る実話に基づいた「デンキのヒーロー」、下請、金融、従業員、地域をテーマとした中小企業のショートコメディ「踊る中小捜査線」など多数執筆しており、高い評価を得ています。

公演制作を担当する「劇団カオス」は会話劇を得意とし、型にはまらない独特な芝居をつくりあげるのが特色の劇団です。

【公演情報】

演 目：公務イング・マイ・ウェイ！
脚 本：本多 哲夫（大阪公立大学商学部 教授）
出 演：劇団カオス（大阪公立大学公認文化系サークル）
日 時：2023年8月19日（土）・20日（日）15:00（開場：14:30）
※上演時間は80分を予定
場 所：大阪公立大学杉本キャンパス 田中記念館ホール（下記地図参照）
料 金：入場料無料（カンパ制）
定 員：200名（先着順、事前申し込み不要）

【会場のご案内】



田中記念館ホール
(1F)

※建物の正面玄関へは↓の入口からお入りいただくのが便利です。

【本件に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 商学部 教授 本多 哲夫

E-mail : honda@omu.ac.jp

Twitter : [@edutainmentsu](https://twitter.com/edutainmentsu)、[@gekidanchaos](https://twitter.com/gekidanchaos)

Web : <https://www.omu.ac.jp/bus/edutainmentsu/>

【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課

担当：永田

TEL : 06-6605-3411

E-mail : koho-list@ml.omu.ac.jp